

あなたのアイデアを
グランドデザインの冊子に！

これからの静岡都心を考える

葵歴史のまちづくり グランドデザイン

意見募集

募集期間

令和4年

2/1(火)~3/3(木)



▲写真撮影：
望月敏秀さん
(市民カメラマン)

歴史とともに暮らす誇りを感じ、ワクワクする「おまち」

静岡市では、静岡都心において、新たな価値を加える歴史資源を活かした「歴史文化」と、静岡都心をけん引してきた商業・業務エリアの「都心再生」の2つをテーマにまちづくりを進めたいと考えています。

このたび、この取組を進めるために、およそ20年先の中長期的な地区の目指す姿と実現するための方針等を示す「葵歴史のまちづくりグランドデザイン(案)」を策定しました。

グランドデザイン案について、ぜひ、市民の皆様のご意見をお寄せください。



葵歴史のまちづくりグランドデザイン（案）概要

《グランドデザインの目的》

静岡都心に新たな価値を加える歴史資源を活かした「歴史文化の拠点づくり」と、静岡都心をけん引してきた商業・業務エリアの今後のあり方を検討する「都心再生に向けたまちづくり」は、空間的に重なり合い、機能的にも相互に関連しているため、一つの方向性のもとで一体的にまちづくりを進めることが重要となります。

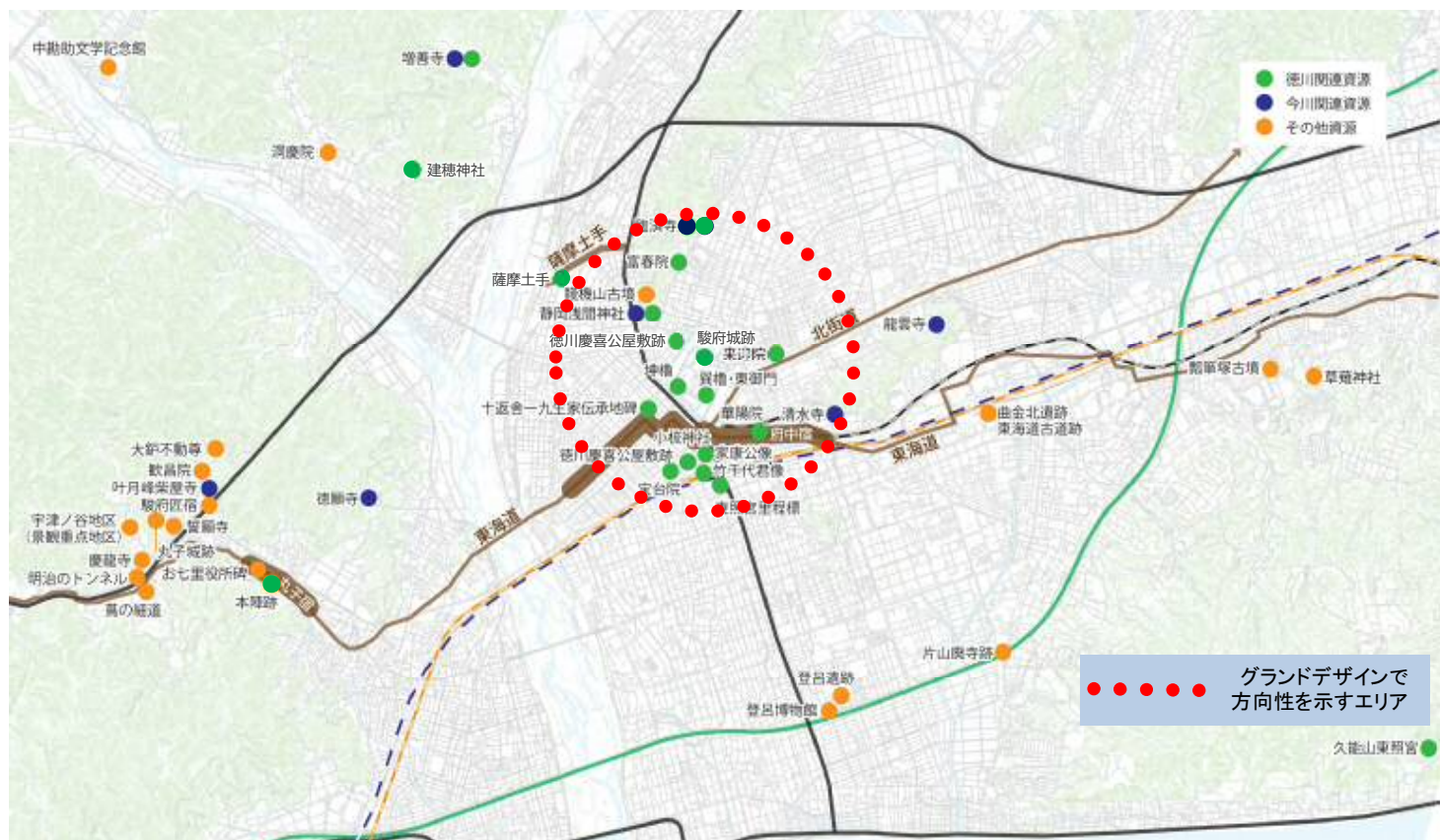
そこで、「歴史文化」「都心再生」の2つのテーマに重点を置き、およそ20年後の将来像を示す『葵歴史のまちづくりグランドデザイン（案）』を策定しました。

《静岡都心の現状と役割》

静岡都心は、商業、業務を中心とした都市機能とともに、徳川氏や今川氏のゆかりの地として歴史資源が数多く残されています。また、大道芸などの芸術活動や、静岡おでんをはじめとする食など、静岡特有の文化が豊富で、市民にとっては、ちょっとオシャレをして出かける憧れの場所として栄えてきました。

このため、これまで培ってきた都市機能の更新と、新たな時代に対応した都市機能へも転換しつつ、歴史資源の活用と経済の活性化を目指したまちづくりが求められます。さらに、先端技術を活用し、暮らしやすい、働きやすい、居心地がいいまちを形成し、シビックプライド（郷土愛）の醸成を図ることが重要となります。

《グランドデザインの対象エリア》



【備考】

この「葵歴史のまちづくりグランドデザイン（案）」は静岡都心を対象にしています。
なお、清水都心では、令和元年7月に「清水みなとまちづくりグランドデザイン」を策定、
草薙・東静岡副都心では、令和3年3月に「駿河まなびのまちづくりグランドデザイン」を策定しています。

市民のみなさんとともに
まちづくりを進めます！！



<目指す将来の姿>
歴史とともに暮らす誇りを感じ、ワクワクする「おまち」

2022年

2030年

2040年

2050年

葵歴史のまちづくりグランドデザイン（案）概要

《グランドデザインの目指す姿》

歴史とともに暮らす誇りを感じ、ワクワクする「おまち」

《目指す姿を実現するための3つの方針》

①市民・来訪者

静岡特有の文化に触れることで、「おまち」のファンとなり、その魅力を発信します

②事業者

食やホビー、芸術などの文化資源を活用することで、経済の活性化につなげます

③行政

文化資源の磨き上げとともに、「おまち」ファンの交流のための仕組みづくりを進めます

①市民・来訪者

長い歴史の中で培ってきた地域の価値を発見・再認識し、後世に伝承します

②事業者

歴史資源を活用した観光交流やまちなみ景観形成への協力など、経済の活性化につなげます

③行政

市民や来訪者が、歴史を感じることができるよう、触れる機会の創出や空間づくりを行います

「おまち」とは…

もともと静岡都心の一部のエリアを指し、市民にとっては敷居が高く、憧れの場所というような言葉でした。このグランドデザインでは、これまで培ってきて、言わば静岡弁として定着した「おまち」という言葉を大切にしたいと考え、みんなで作るまちにしたいというメッセージも込めて、あえて「おまち」という言葉を、愛称や概念として採用します。

ファンとは…

このグランドデザインでは、次のようにまちに関わってくれるすべての人を「ファン」と位置付けます。

- ・おまちを好きな人
- ・おまちでビジネスする人
- ・おまちを訪れる人
- ・おまちでまちづくりに参加する人

「おまち」のファンになる

歴史を身近に感じる

心地よく暮らしやすい

①市民・来訪者

自分らしいライフデザインを描くとともに、まちの一員として地域活動の担い手となり活動に参加します

②事業者

先端技術等を活用し、新たな都市の価値を生み出すとともに、利便性の高いサービスを提供します

③行政

ひと中心のまちを目指し、安全で快適な都市空間の形成や都市機能の更新を行います

《取組の視点》

方針1 歴史を身近に感じる

視点1 歴史資源の再認識

- 歴史資源の保全を図り、歴史を身近に学べる機会を創出する



視点2 歴史資源の活用・体験

- 歴史資源を活用した交流を推進し、歴史を楽しむ機会を創出する



視点3 歴史の空間づくり

- 市民や来訪者が日常的に歴史に触れられる機会を創出する



方針2 「おまち」のファンになる

視点4 文化資源の磨き上げ

- 「おまち」ファンづくりに向けて、まちの魅力を楽しめる機会を創出する



写真撮影：田中浩さん（市民カメラマン）

視点5 憩いの空間づくり

- 来訪者を惹きつけ、やすらぎが感じられるおもてなし空間づくりを進める



視点6 観光・移住の促進

- 「おまち」ファンを中心として、人が人を呼ぶ仕掛けづくりを進める



方針3 心地よく暮らしやすい

視点7 まちの更新

- 都市アセットの活用により持続可能なまちの形成に向けた都市機能の更新を進める



視点8 まちをつかう

- 公民共創によりまちなかのオープンスペースを日常的に活用し、賑わいを創出する



視点9 先端技術の活用と浸透

- 時代に沿った先端技術の活用により、多様なライフスタイルの実現を図る



出典：TOYOTA HP

ご意見・アイデア

例えば、

お待ちしております！

☆ どんなことがあったら嬉しい？



こんな取組があると、静岡都心の特色を活かして、よいまちになると思う！

☆ どんなまちになってほしい？



楽しく静岡の歴史のことに学べて、みんなが好きになるようなまちになってほしい！

☆ 未来に向けて大事にしたいことは？



これからも、静岡で商売ができるように賑わいや交流を大切にしていきたい！

このグランドデザインは
およそ20年先のまちの将来像
について示すものです

グランドデザインと聞くと、「何だか堅苦しくて難しそう・・・」「私には関係ないことだし・・・」と思う方も多いかもかもしれません。

それなら、**あのアニメの世界にはこんなものがあった！20年後ならこんなことができるんじゃないか？こんなことをやってみたい！**などと考えるのはどうでしょう。わくわくできる未来を考えてみませんか。みなさんのアイデアをお待ちしています！



市民の皆様のご意見
お待ちしております！

※対象となる「市民」とは、市内に居住し、通学し、又は通勤する個人及び市内において事業を行い、又は活動を行う個人又は法人その他の団体をいいます。

📝 ご意見の提出方法

期間内に、意見応募用紙を次のいずれかの方法でご提出ください。

1 郵送	〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 静岡市役所 企画課 あて
2 ファクシミリ	FAX番号:054-221-1295
3 持参	企画課(静岡庁舎新館9階)
4 市HP (電子申請)	市ホームページにある応募専用フォームでご提出ください。 ※個人情報保護の観点から、電子メールでのご提出は受付できかねます。

📝 意見応募用紙と詳しい資料の配架場所は次のとおりです

意見応募用紙の配架場所と、葵歴史のまちづくりグランドデザイン(案)の概要版、本編が閲覧できる場所は次のとおりです。

- (1) 企画課(静岡庁舎新館9階)
- (2) 各区の市政情報コーナー(葵区/静岡庁舎新館1階、駿河区/駿河区役所3階、清水区/清水庁舎4階)
- (3) 生涯学習センター、生涯学習交流館、図書館(概要版のみ)
- (4) 静岡市ホームページ(https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000252.html)

葵歴史のまち



※右の二次元コードからホームページにリンクされます。



～お問い合わせ先～

静岡市企画課政策企画・調整係 (電話: 054-221-1002 FAX: 054-221-1295)